

# KIJIMA ORIGINALPARTS

## TECHNICAL SERVICE MANUAL



KAWASAKI 2025y-W230 / MEGURO S1

フェンダープレート

&lt;商品番号: 206-9043&gt;

## 【取扱説明書】



注意

取付け前に必ずお読みください。

作業時間: 0.5H

※文字入れや乾燥時間等を除く。

このたびは、当社製商品をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品は以下のことをご理解のもと作業していただきますようお願い申し上げます。

作業にあたられる方は本体車両メーカーのサービスマニュアルに準ずる知識及び技術を持った方に限ります。

- ・取付け前に商品構成の内容を必ずご確認ください。
- ・道路交通法・道路運送車両法を厳守する。
- ・運行前点検及び、定期的な保守整備を行う。
- ・本取付け説明書に則った取付けを行う。
- ・本製品への加工を加えない。
- ・不具合が発生した場合速やかに使用を中止する。

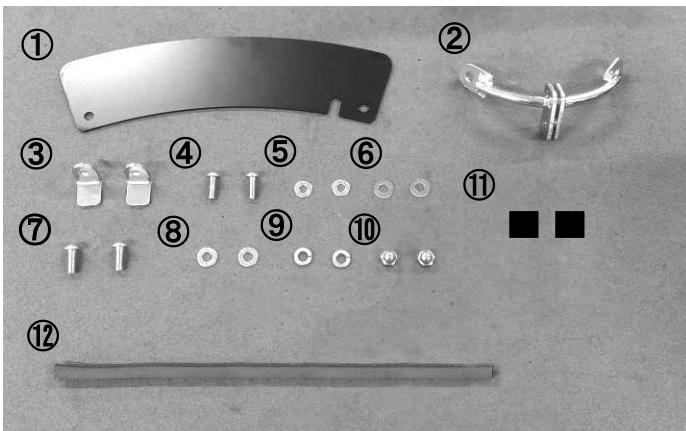
以上の事柄を必ずお守りください。

万が一、商品に不備があった場合は、取付けを行わないでください。

上記が守られていない場合、商品への保証は一切いたしません。

また、株式会社キジマは本製品にのみ責任を持つものであり、本製品の品質以外（修理費、取付工賃等）どのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承ください。

## 《部品構成内容》



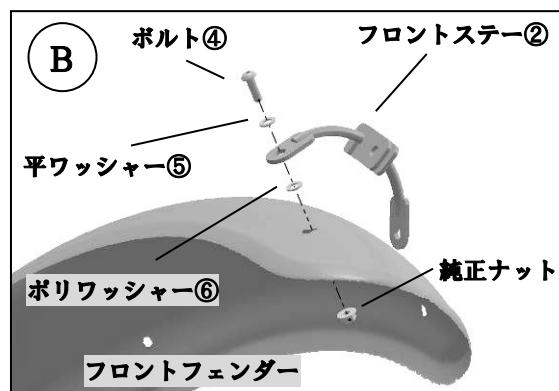
部番	品名	個数
①	18インチプレート	1
②	フロント固定ステー	1
③	リアステー	2
④	ボタンキャップボルト M5×15L	2
⑤	平ワッシャー φ12×φ5.5×0.8t	2
⑥	ポリカワッシャー φ13×φ6.0×1.0t	2
⑦	ボタンキャップボルト M6×15L	2
⑧	平ワッシャー φ13×φ6.5×1.0t	2
⑨	SPワッシャー M6	2
⑩	袋ナット M6	2
⑪	両面テープ 15×16×1.0t	2
⑫	ゴムモール 315mm	1
⑬	型紙※別紙	1

## ■ ■ ■ 製品取付けに当たっての注意点 ■ ■ ■

- ※ 本製品は、KAWASAKI 2025y-W230 / MEGURO S1 (8BK-BJ230A) に適合します。
- ※ 本製品は、プレートに好きな文字を入れて、クラシカルなイメージを醸し出すドレスアップパーツです。
- ※ 本製品のプレートに入れられる文字サイズの高さは、30~50mmです。
- ※ 本製品と弊社製エンブレムステー (208-3107) と併用可能です。
- ※ 本製品は、ゴムモール付きです。装着には、瞬間接着剤が必要となります。
- ※ 本製品の後方側の取付けは、両面テープを使用している為、使用していく過程で剥がれや劣化等が発生する可能性がございます。その場合は新しい両面テープを貼り付け、再度固定して下さい。
- ※ 強風時の走行は、ハンドルを取られる可能性がありますので、十分に注意して走行して下さい。
- ※ 純正部品の取外し/取付け、ボルト/ナットの締め付けについては、メーカー発行の取扱説明書に基づいて、確実に行ってください。必ずメインキーをOFFの状態で作業を行う事。また作業中に車体が倒れたりして危険ですので、水平な場所で車体を安定させて行う事。
- ※ 取扱い説明書は大切に保管し、本製品もしくは本製品を装着した状態で車両を譲渡などする場合は、この取扱い説明書も一緒にお渡し下さい。

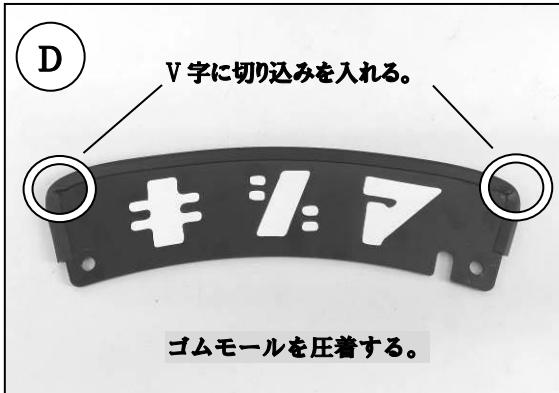
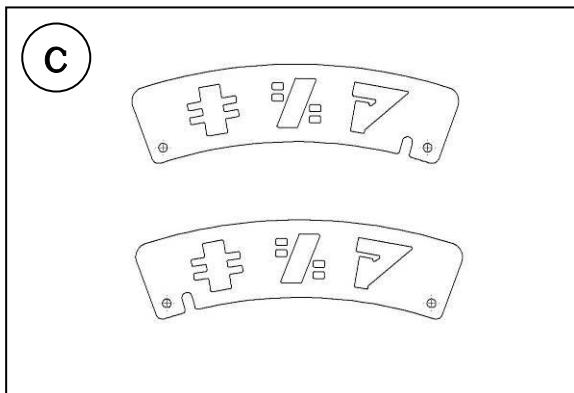
## <取付け方法>

本文中や図中で出てくる丸囲み数字は前ページの部品構成内容表の部番に対応しています。

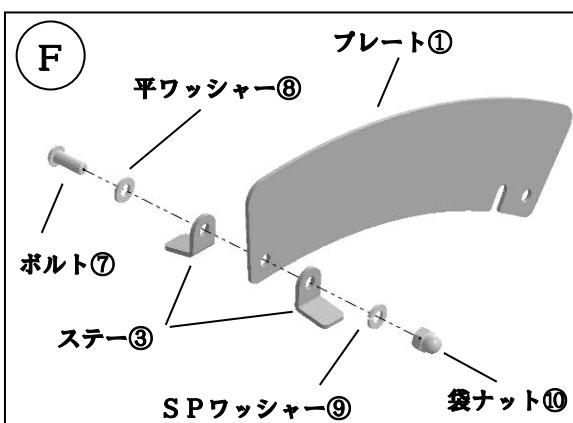
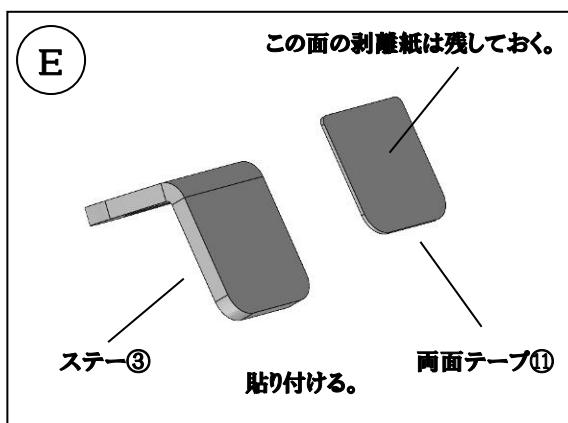


- 1、純正フロントフェンダーの前側2か所のボルト/ナットを取り外します。 (写真A参照)
- 2、フロントステー②をボルト④/平ワッシャー⑤/ステー②/ポリワッシャー⑥/純正フェンダー/純正ナットの順に仮固定します。反対側も同様に取付けます。 (図B参照)

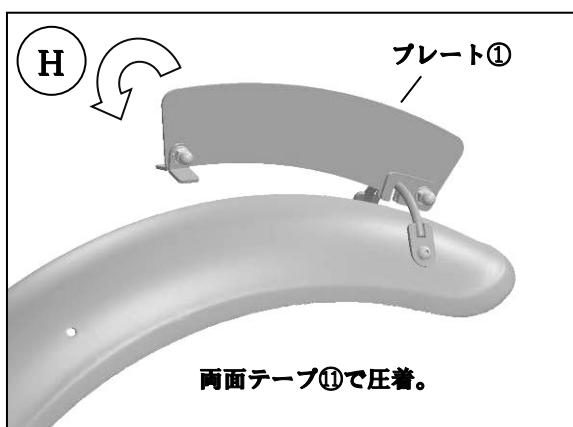
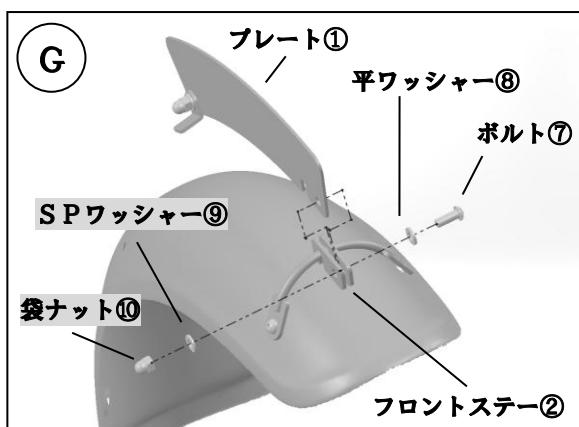
※装着時にフロントフェンダー等に傷が付かないようにテープ等で保護してから作業して下さい。



- 3、型紙⑬を参考にしてプレート①の有効スペースの中にお好きな文字を入れたり、貼り付けたりします。 (図C参照)
- 4、プレート①にモール⑫を型紙⑬を参考に這わせます。プレート①のR部分が膨らむので、V字の切り込みを入れます。 (写真D参照)
- 5、モール⑫の溝部に瞬間接着剤を使用し、プレート①に押し付けながら、圧着固定します。 硬化時間は、ご使用の瞬間接着剤の説明書を参考に接着して下さい。
- 6、接着剤が乾燥したら、余分な部分をヘラ等で、塗装面等が傷つかない様に接着剤のみを削っていきます。 ※有機溶剤等を使用して接着剤を落とせますが、ゴムやプレート①の塗装面に影響が出る場合がある為、目立たない所で試してからご使用して下さい。



- 7、リアステー③の裏面を綺麗に脱脂し、両面テープ⑪の片面の剥離紙を剥がして貼り付けます。 (図E参照)  
※両方とも同様に貼り付けます。
- 8、プレート①にリアステー③をボルト⑦/平ワッシャー⑧/リアステー③/プレート①/リアステー③/S Pワッシャー⑨/袋ナット⑩の順に仮固定します。 (図F参照)



9、仮組みしたプレート①をフロントステー②の間に挟み込み、ボルト⑦/平ワッシャー⑧/フロントステー②/プレート①/フロントステー②/S Pワッシャー⑨/袋ナット⑩で仮固定します。 (図G参照)

10、フロントフェンダーにステー③の両面テープ面を当てて、貼り付ける位置を決めて、リアステー③の両面テープ⑪の剥離紙を剥がし、フロントフェンダーに圧着します。 (図H参照)

※リアステー③の両面テープを貼り付ける際は、プレート①に仮固定したままリアステー③の両面テープを貼り付けると位置が貼り付けやすくなります。

※貼り付け面を綺麗に脱脂してから圧着固定して下さい。

※ご使用状況等により、両面テープの剥がれ等がある場合には、新品の両面テープに貼り換えて下さい。

11、すべてのボルト/ナットを本締め固定して完了です。

※両面テープ⑪が剥がれないように押さえつけながら本締め固定して下さい。

#### 《装着イメージ》



※必ず定期的なボルト/ナット類の締め付け確認を行って下さい。

モーターレク総合開発メーカー

株式会社 **キジマ**

MOTORCYCLE PARTS&ACCESSORIES KIJIMA co.,ltd. [www.tk-kijima.co.jp](http://www.tk-kijima.co.jp)

〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3 TEL. 03-3897-2167 FAX. 03-3897-2138